

MMO ゲーミングマウス M-DUX70BK ドライバー設定ガイド

このドライバー設定ガイドは、“M-DUX70BK” に付属のドライバーを使った、各ボタンの機能変更、DPI の設定などの操作について説明しています。

※ドライバーのインストール方法については、“M-DUX70BK” に付属のユーザーズマニュアルをご覧ください。

※このドライバー設定ガイドは、Windows® 10 の画面で説明しています。
画面は OS によって異なりますが、操作は同じです。

ドライバーを起動する

→2 ページ

ドライバーの画面について

→3 ページ

ボタンの機能を設定する

→5 ページ

DPI 値を設定する

→16 ページ

各種機能設定画面を起動する

→17 ページ

PC1/PC2 のボタン設定を一括で管理する

→24 ページ

ドライバーを起動する

- 1 タスクトレイまたは通知領域の  アイコンをクリックして「設定画面を開く」をクリックします。



-  • Windows® 10、Windows® 8.1/8、Windows® 7で通知領域に  が表示されている場合は、 をクリックして  アイコンを右クリックし、「設定画面を開く」をクリックします。

- 2 ドライバーの設定画面が表示されます。

ゲーミングマウスを接続後、ドライバーの初回起動時は、ゲーミングマウスの本体メモリに保存されている設定が読み込まれます。



-  ゲーミングマウスを接続せずにドライバーを起動すると、右の画面が表示されます。
必ず本製品を接続して操作してください。



ドライバーの画面について



1 プロファイル選択部

5つのプロファイルが設定できます。5つのプロファイル（プロファイル1～5）にそれぞれ異なるボタン設定を登録でき、プロファイルを切り替えることで設定をまとめて切り替えることができます。

詳細は、[👉 「ボタンの機能を設定する」](#) を参照してください。

2 ボタンリスト

ボタン番号と現在各ボタンに割り当てられている機能が表示されます。PC1にはPC1（有線接続側）を操作時の機能が、PC2にはPC2（無線接続側）を操作時の機能が表示されます。

ボタンの機能を変更するには、変更するボタンの番号、ボタン名、または機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。

詳細は、[👉 「ボタンの機能を設定する」](#) を参照してください。

③ DPI 設定部

DPI (Dot Per Inch) とは、ゲーミングマウスを 1 インチ動かしたときのカーソルの動きをドット数で示したものです。DPI の数値が高いほど、ゲーミングマウスの動きに対するポインタの移動範囲や速度が大きくなります。DPI の設定は 4 段階保存できます。設定した内容は自動的にマウスの本体メモリに保存され、すぐに反映されます。詳細は、👉 [「DPI 値を設定する」](#) を参照してください。

④ 各種機能設定画面起動ボタン

レポートレート、リフトオフ距離、本体メモリ管理、その他機能設定をする画面を起動します。

詳細は、👉 [「各種機能設定画面を起動する」](#) を参照してください。

⑤ カーソル動作表示アイコン

PC1 と PC2、それぞれでマウスカーソルを動作するかを表示します。

 カーソルが動作します。

 カーソルが動作しません。

カーソル 有効 / 無効設定の「押下中のみ切替」で一時的に切替しているときはアイコンには反映されません。

⑥ PC1/PC2 一括編集ボタン

PC1/PC2 のボタン設定を一括して PC2/PC1 にコピーしたり、PC1/PC2 のボタン設定をそれぞれ一括で削除できます。

詳細は、👉 [「PC1/PC2 のボタン設定を一括で管理する」](#) を参照してください。

⑦ マウス・キーボード切替ボタン

本製品と弊社製 MMO ゲーミングキーボード「TK-DUX30BK」または「TK-DUX50BK」を同時に使用する場合に、ドライバー設定画面を切り替えて使用できます。

ボタンの機能を設定する

プロフィールを選択する

最初にプロフィールを選択します。ボタン設定の内容が、選択したプロフィールに登録されます。



ボタンの機能を設定する

ボタンリストには、ボタン番号と現在各ボタンに割り当てられている機能が表示されています。

PC1にはPC1（有線接続側）を操作時の機能が、PC2にはPC2（無線接続側）を操作時の機能が表示されています。



ボタンの機能を変更するには、変更する機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。



リストに表示しきれなかったボタンはホイールを回し、スクロールさせるかスクライダーをドラッグして表示させてください。

ボタンの機能を設定するには

次の手順は、PC1の「3ホイールクリック」に「音量ミュート」を、PC2の「3ホイールクリック」に「メディアプレーヤーを開く」を割り当てる場合を例として説明します。

1 変更するPC1の機能名をクリックします。

ボタン設定画面が起動します。



2 ボタン設定画面の「音量」の「音量ミュート」をクリックします。

選択した機能が赤く表示されます。

設定できる機能の詳細は、➡「[ボタン設定画面](#)」を参照してください。



3 登録する をクリックします。



4 これで、PC1 のボタンの機能が変更されました。



PC1 の操作でチルトホイールをクリックすると、「音量ミュート」が実行されます。

5 続いて変更する PC2 の機能名をクリックします。

ボタン設定画面が起動します。



6 ボタン設定画面の「その他機能」の「メディアプレーヤーを開く」をクリックします。

選択した機能が赤く表示されます。



7 登録する をクリックします。



8 これで、PC2 のボタンの機能が変更されました。



PC2 の操作でチルトホイールをクリックすると、「メディアプレーヤーを開く」が実行されます。

ボタン設定画面



マウス

| | |
|------------|---|
| 左クリック | 左クリックします。 |
| 右クリック | 右クリックします。 |
| ホイールクリック | チルトホイールをクリックします。 |
| ボタン 4 (戻る) | ボタン 4 の機能を割り当てます。Web ブラウザでは「戻る」操作になります。 |
| ボタン 5 (進む) | ボタン 5 の機能を割り当てます。Web ブラウザでは「進む」操作になります。 |



PC1 で左クリックが割り当てられているボタンの機能を変更しようとする、次のメッセージが表示されます。

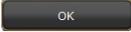


他のボタンに左クリックを割り当ててから、割り当てを変更してください。

ホイール

| | |
|---------------|-----------------------|
| ホイール UP | ホイール UP の機能を割り当てます。 |
| ホイール DOWN | ホイール DOWN の機能を割り当てます。 |
| チルト左 (左スクロール) | Web ブラウザ等で左にスクロールします。 |
| チルト右 (右スクロール) | Web ブラウザ等で右にスクロールします。 |

DPI 設定

| | |
|--------------|--|
| 指定した DPI に変更 | <p>ボタンを押している間だけ、あらかじめ指定しておいた DPI に変更します。</p> <p>《設定方法》</p> <p>①「指定した DPI に変更」をクリックします。 DPI 指定画面が表示されます。</p> <p>② X と Y をそれぞれの値をドラッグして変更します。</p>  <p>③  をクリックし、DPI 指定画面を閉じます。</p> |
| 次の DPI Lv | Lv1 → Lv2 → Lv3 → Lv4 → Lv1・・・の順に DPI のレベルを切り替えます。 |
| Y 方向をロックする | ポインタの Y 軸方向（上下）の動きを禁止し、左右のみの動きに設定します。 |
| X 方向をロックする | ポインタの X 軸方向（左右）の動きを禁止し、上下のみの動きに設定します。 |
| DPI Lv を上げる | Lv1 → Lv2 → Lv3 → Lv4 の順に DPI のレベルを 4 段階で上げます。 |
| DPI Lv を下げる | Lv4 → Lv3 → Lv2 → Lv1 の順に DPI のレベルを 4 段階で下げます。 |

キーボード

表示されたキーボード上で選択した任意のキーをマウスボタンに割り当てます。



設定方法》

- ① **登録するキー選択** をクリックします。

キーボード設定画面が表示されます。

- ② 設定したいキーをクリックします。

選択したキーには **[]** が付きます。



「Ctrl」、 「Shift」、 「Alt」 など、同時押しが可能なキーと組み合わせで設定することができます。

- ③ **OK** をクリックし、キーボード設定画面を閉じます。

プロファイル

| | |
|----------|-------------------|
| プロファイル変更 | プロファイルを順に切り替えます。 |
| プロファイル 1 | プロファイル 1 に切り替えます。 |
| プロファイル 2 | プロファイル 2 に切り替えます。 |
| プロファイル 3 | プロファイル 3 に切り替えます。 |
| プロファイル 4 | プロファイル 4 に切り替えます。 |
| プロファイル 5 | プロファイル 5 に切り替えます。 |

- ❗ 「プロファイル変更」 を割り当てる場合、すべてのプロファイルで同じボタンに割り当てることを推奨します。

すべてのプロファイルに割り当てない場合、連続して押しても切り換えがグループしなくなります。

音量

| | |
|--------|------------------------|
| 音量 上げる | Windows® の音量設定を上げます。 |
| 音量 下げる | Windows® の音量設定を下げます。 |
| 音量ミュート | Windows® の音量設定を消音にします。 |

音楽

| | |
|--------|---|
| 再生 | メディアプレーヤーを再生します。* |
| 一時停止 | メディアプレーヤーの再生を一時停止 / 再開します。* |
| 前のトラック | メディアプレーヤーの1つ前のトラック / チャプター / ファイルの先頭に戻ります。* |
| 次のトラック | メディアプレーヤーの次のトラック / チャプター / ファイルの先頭に進みます。* |

*使用するプレーヤーソフトによっては動作しないことがあります。

その他機能

| | |
|--------------|--|
| メディアプレーヤーを開く | 既定のプログラムに設定されているメディアプレーヤーを起動します。 |
| Web ブラウザを起動 | 標準の Web ブラウザを起動します。 |
| マイコンピュータを開く | Windows® のエクスプローラから「PC」(Windows® 7 では「コンピューター」) を開きます。 |
| 電卓を開く | 電卓を起動します。 |
| 設定画面を開く | ドライバーの設定画面を開きます。 |

カーソル有効 / 無効設定

| | |
|------------|---|
| 有効 / 無効の切替 | マウスカーソルの有効 / 無効を切り替えます。 例 : PC1 に割り当ててボタンを押すと、PC1 のマウスカーソル動作が有効 / 無効になります。 |
| 押下中のみ切替 | ボタンを押しているあいだのみマウスカーソルの有効 / 無効を切り替えます。 |

無効 ボタン

クリックすると登録した機能を「なし」の状態にします。

初期設定に戻す ボタン

クリックすると現在設定されている機能を初期設定に戻します。

キャンセル ボタン

クリックすると選択した機能を設定せずにメイン画面に戻ります。

登録する ボタン

ボタン設定画面で選択した機能をボタンに登録します。

DPI 値を設定する

ゲーミングマウスの DPI を設定します。

DPI の設定は 4 段階保存でき、「DPI Lv を上げる」「DPI Lv を下げる」「次の DPI Lv」で切り替えできます。設定した内容は自動的にゲーミングマウスの本体メモリに保存され、すぐに反映されます。



① DPI 値設定バー

設定バーをドラッグして、DPI を 50 ~ 5000 dpi の間で 50 dpi 単位で設定します。

- ❗ 設定できる最小値は 50dpi ですが、マウスカーソルがほとんど動かなくなります。小さな値で確定してしまった場合は、他のポインティングデバイスを使用して数値を再設定してください。

② X と Y を個別に設定する

チェックマークを付けると、X 軸と Y 軸を個別に設定できます。

ポインタの動きを上下方向または左右方向に大きくするときに使用します。

各種機能設定画面を起動する

レポートレート、リフトオフ距離、本体メモリ管理、その他機能設定をする画面を起動します。



「レポートレート」設定画面起動

「本体メモリ管理」設定画面起動

「その他機能」設定画面起動

「リフトオフ距離」設定画面起動

「レポートレート」設定画面起動ボタン

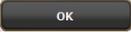
クリックすると「レポートレート」設定画面が起動します。



レポートレートとは、ゲーミングマウスがパソコンに動きを送信する頻度を周波数 (Hz) で示したものです。値が大きいほど、操作がパソコンに早く伝わります。

125Hz, 250Hz, 500Hz の 3 種類の中から設定します (初期値は 500Hz です)。

《設定方法》

- ① 「レポートレート」 をクリックします。
「レポートレート」設定画面が表示されます。
- ② スライダーを移動させて、レポートレートを設定します。
- ③  をクリックし、「レポートレート」設定画面を閉じます。

「リフトオフ距離」設定画面起動ボタン

クリックすると「リフトオフ距離」設定画面が起動します。



マウスを持ち上げた際にカーソルが動作しなくなる高さを調整します。数字が小さいほどリフトオフ距離が短くなりますが、小さくしすぎるとカーソルが動作しなくなります。使用中のマウスパッドに最適な値で使用してください。

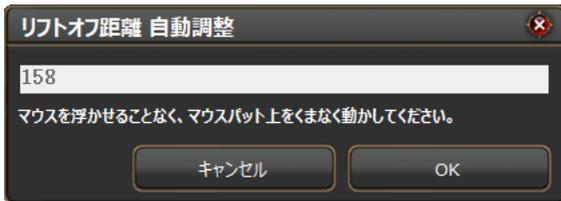
自動調整

実際にゲーミングマウスを操作することで、使用中のマウスパッドに最適な値を検出します。

《設定方法》

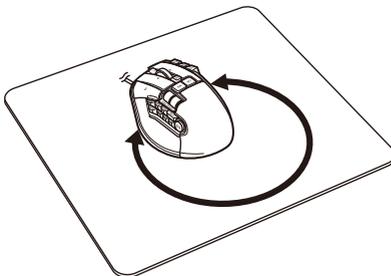
- ① **リフトオフ距離 自動調整** をクリックします。

自動的にリフトオフ距離 自動調整ダイアログボックスが表示されます。

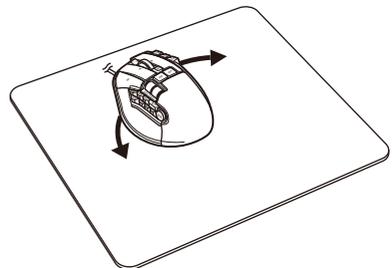


- ② マウスを浮かせず、マウスパッドの上を上下左右に隅々まで動かします。

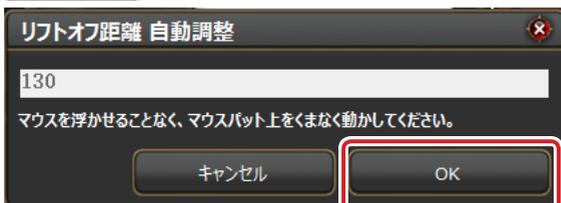
大きく円を描くように動かす



小さく左右にツイストさせる



- ③ **OK** をクリックします。



手動調整

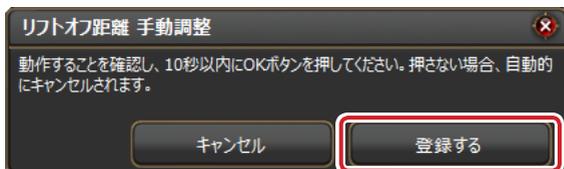
数値入力して設定します。

《設定方法》

- ① **リフトオフ距離 手動調整** をクリックします。
リフトオフ距離 手動調整ダイアログボックスが表示されます。
- ② 数値を入力します。



- ③ **Test** をクリックします。
- ④ マウスを動かし、マウスカーソルが動作する場合は、10秒以内に **登録する** をクリックします。

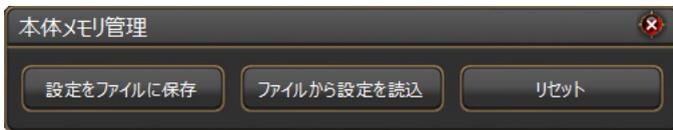


マウスカーソルが動作しない場合は、**登録する** をクリックせずに 10 秒間待ちます。リフトオフ距離 手動調整ダイアログボックスが終了したら、手順①からやり直します。

- ❗ 手動調整で小さい値を設定すると、マウスカーソルが動かなくなる場合があります。万一、カーソルが動作しない数値で確定してしまった場合は、他のマウスパッドなど動作可能な操作面を探るか、他のポインティングデバイスを使用して数値を再設定してください。

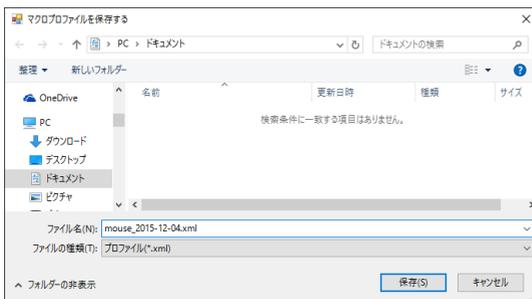
「本体メモリ管理」設定画面起動ボタン

クリックすると「本体メモリ管理」設定画面が起動します。



設定をファイルに保存 ボタン

設定したゲーミングマウスの本体メモリをパソコンのファイルとして保存します。ボタンをクリックすると、名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。



同じ名前のファイルがある場合、上書きしてもよいか確認のメッセージが表示されます。

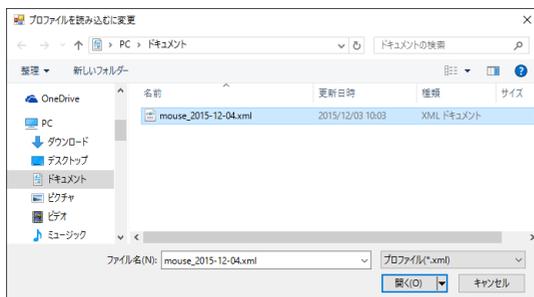


ファイルから設定を読み ボタン

パソコンに保存されているファイルをゲーミングマウスの本体メモリに読み込みます。ボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。



OK をクリックすると [開く] ダイアログボックスが表示されます。



保存したファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。
ゲーミングマウスの本体メモリにファイルの内容が読み込まれます。

全ての設定をリセット ボタン

ゲーミングマウスの本体メモリに保存したすべての設定（ボタンの機能割り当て、DPI の設定など）をリセットし、初期設定に戻します。
ボタンをクリックすると確認のメッセージが表示されます。



OK をクリックするとすべての設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

「その他機能」設定画面起動ボタン

クリックすると「その他設定」画面が起動します。



設定変更時にミニウインドウを表示する

チェックボックスをオンにすると、プロファイルや DPI 切り替え時に設定内容をミニウインドウでデスクトップの左上に表示するようになります。



プロファイル切替時



DPI 切替時



本製品は設定をゲーミングマウス本体に保存するので、ドライバーがインストールされていないパソコンでも設定は有効ですが、ミニウインドウはドライバーがインストールされていないパソコンでは表示されません。

Windows のマウスカーソル加速を強制的に無効にする

チェックボックスをオンにすると、Windows® のマウスカーソル加速を無効にします。

PC1/PC2 のボタン設定を一括で管理する

PC1/PC2 のボタン設定を一括で管理します。次の項目が操作できます。

- ・ PC1 のボタン設定を PC2 に一括でコピーする
- ・ PC2 のボタン設定を PC1 に一括でコピーする
- ・ PC1/PC2 のボタン設定をそれぞれ一括で削除する
- ・ PC1 のボタン設定を工場出荷時の状態に初期化する

設定した内容は自動的にゲーミングマウスの本体メモリに保存され、すぐに反映されます。



「PC1/PC2 一括編集」ボタン

クリックすると「一括編集」画面が起動します。



一括コピー

PC1/PC2 のボタン設定をそれぞれもう一方に一括でコピーします。

 : PC1 のボタン設定を PC2 に一括コピーします。

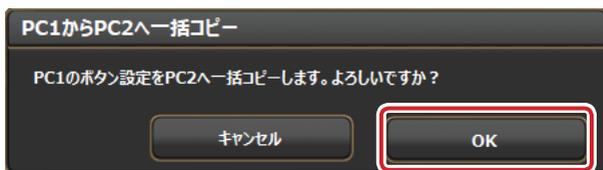
 : PC2 のボタン設定を PC1 に一括コピーします。

《設定方法》

PC1 のボタン設定を PC2 に一括コピーする場合

①  をクリックします。

「PC1 から PC2 へ一括コピー」ダイアログボックスが表示されます。



②  をクリックします。

PC1 から PC2 へボタン設定が一括コピーされます。



PC2 のボタン設定を PC1 に一括コピーする場合、PC2 に左クリックの設定が無い場合は、現在の PC1 で左クリックの設定がされているボタンはそのまま左クリックの設定になります。

削除

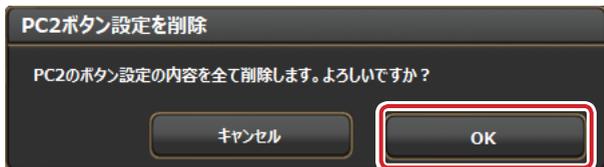
PC1/PC2 のボタン設定をそれぞれ一括で削除します。

《設定方法》

PC2 のボタン設定を一括で削除する場合

- ① PC2 の **削除** をクリックします。

「PC2 ボタン設定を削除」ダイアログボックスが表示されます。



- ② **OK** をクリックします。

PC2 のボタン設定がすべて削除されます。



PC1 のボタン設定を一括で削除する場合でも、左クリックが割り当てられているボタン設定は削除されません。

リセット

PC1 のボタン設定を工場出荷時の状態に初期化します。

《設定方法》

- ① **リセット** をクリックします。

「PC1 ボタン設定を初期化」ダイアログボックスが表示されます。



- ② **OK** をクリックします。

PC1 のボタン設定が工場出荷時の状態に初期化されます。



工場出荷時の状態に初期化されるのは、PC1 のボタン設定のみです。PC2 のボタン設定や DPI の設定などは初期化されません。

MMO ゲーミングマウス M-DUX70BK

ドライバー設定ガイド

2017年7月20日 第2版

- 本マニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本マニュアルの内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- その他記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。